

# 日本言語学会第 150 回大会 プログラム

会 長 窪 蘭 晴 夫  
大会運営委員長 青 木 博 史  
大会実行委員長 福 盛 貴 弘

期 日：2015 年 6 月 20 日（土）・21 日（日）

会 場：大東文化大学板橋キャンパス（〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1）  
Tel/ Fax:03-5399-7329/ 03-5399-7381（大会実行委員長 福盛貴弘 宛）  
E-mail: lsj\_150th\_meeting@yahoo.co.jp

共 催：大東文化大学外国語学部，大東文化大学大学院外国語学研究科，大東文化大学外国語学会，  
大東文化大学語学教育研究所

※駐車場はありませんので，自動車でのご来場はご遠慮下さい。  
※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

\*\*\*\*\*

## — 第 1 日（6 月 20 日） —

10:00－12:30	評議員会（評議員の方はご出席下さい。）	2 号館 2 階大会議室
12:00－	受付	1 号館 1 階エントランスホール
13:00－18:00	口頭発表（詳細は 2-3 頁にあります。）	1 号館，3 号館，中央棟
18:30－20:30	懇親会	カフェテリア Green Spot

## — 第 2 日（6 月 21 日） —

9:30－	受付	中央棟 1 階ロビー
10:00－12:00	<b>シンポジウム「日中言語対照研究の現状と未来 —両言語の交渉と研究の統合を視野に入れて—」</b> 司会：竹島毅 講師：田中寛，高橋弥守彦，庵功雄，張麟声 コメンテーター：大島吉郎，須田義治	中央棟 1 階 多目的ホール
12:10－13:10	ポスター発表（詳細は 4 頁にあります。）	3 号館 1 階 3-0106/7 教室
13:20－14:00	会長挨拶，開催校挨拶（大東文化大学学長 太田政男） 日本言語学会学会賞授賞式，会員総会	中央棟 1 階 多目的ホール
14:00－15:00	<b>会長就任講演</b> 窪蘭晴夫「日本語の方言研究と一般言語学」	中央棟 1 階 多目的ホール
15:15－17:00	<b>150 回大会記念フォーラム「日本言語学会の回顧と展望」</b> 司会：梶茂樹 講師：柴谷方良，早田輝洋，上野善道，影山太郎	中央棟 1 階 多目的ホール

シンポジウム・会長就任講演・記念フォーラムは，会員以外の方もご参加いただけます。

■口頭発表 6月20日(土) 13:00-18:00

	<b>A会場 (1-0101 教室)</b> 司会：[1-2] 塚本 秀樹 [3-4] 岸田 文隆 [5-6] 張 麟声 [7-8] 酒井 弘	<b>B会場 (1-0102 教室)</b> 司会：[1-2] 定延 利之 [3-4] 竹沢 幸一 [5-6] 佐々木 冠 [7-8] 下地 理則
13:00-13:30	[A-1] 全 相律 日・韓・中のヴォイス体系に関する一考察 —「働きかけの前景化・背景化」と「視点の固定化」の観点から—	[B-1] 木山 幸子, リヌス フェアドンスコット, 熊 可欣, カリンカ ティマー, 玉岡 賀津雄 終助詞「ね」の可変性と心の理論：事象関連電位による探索的研究
13:35-14:05	[A-2] 山崎 雅人 アルタイ諸語、朝鮮語、日本語の従属節対格主語の機能について	[B-2] 矢野 雅貴 Semantic LAN 現象からみる日本語の文理解モデル
14:15-14:45	[A-3] 平 香織 現代朝鮮語の '-lyeko (hata)' に関する一考察 —日本語の「～ようと(する)」との相違を中心に—	[B-3] カフラマン バルシュ, 広瀬 友紀 日本語の分裂文処理における確率論的要因の検討
14:50-15:20	[A-4] 小山内 優子 16世紀朝鮮語における形式名詞由来のモダリティ形式	[B-4] 滝本 宮美, カフラマン バルシュ, 広瀬 友紀 日本語の二重目的語構文における文理解の難易度について —二格名詞の有生性に着目して—
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	[A-5] 佐野 真一郎, 南部 智史 コーパスを用いた現代日本語における「が／を交替」の実証的研究	[B-5] 坂井 美日 熊本方言における接辞-ar について
16:15-16:45	[A-6] 南部 智史 大正・昭和前期の「が／の」交替に関するコーパスを用いた研究	[B-6] 並木 翔太郎 北海道方言ラサルの認可条件再考
16:55-17:25	[A-7] 猿渡 翌加 大主語構文におけるガ・ノ交替：長崎方言からの考察	[B-7] 山田 真寛 琉球与那国語の敬語体系
17:30-18:00	[A-8] 伊藤 克将, 森 芳樹 日本語のガ・ノ交替の統語論と意味論 —ドイツ語との対照を交えて	[B-8] Satoshi TOMIOKA (Non)-Exhaustivity of <i>Dake</i> 'only'

	<b>C会場 (1-0201 教室)</b> 司会：[1-2] 小野寺 典子 [3-4] 鈴木 亮子 [5-6] 五十嵐 陽介 [7-8] 新田 哲夫	<b>D会場 (1-0202 教室)</b> 司会：[1-2] 芝垣 亮介 [3-4] 于一 楽 [5-6] 三宅 知宏 [7-8] 川原 功司
13:00-13:30	[C-1] 古賀 悠太郎 「視点固定型／移動型言語」の議論の再検討	[D-1] 長屋 尚典 タガログ語の naka- 結果状態構文
13:35-14:05	[C-2] 内海 敦子 インドネシア・フィリピンの諸言語における情報構造の分析	[D-2] 梅田 遼 ハンガリー語における -va 構文の解釈について
14:15-14:45	[C-3] 平田 未季 共同注意の確立過程における聞き手の負荷と話し手による指示詞の質的素性の選択	[D-3] 新井 文人, 日高 俊夫 文法化における論理的意味と非論理的意味 —「行く」「来る」の文法化を例に—
14:50-15:20	[C-4] 菊池 由記 英語の結果構文の認知プロセス —焦点連鎖の観点から—	[D-4] 田村 彩香, 酒井 弘 程度性を含む形容詞の意味処理過程に関する研究
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	[C-5] Yoshihisa KITAGAWA, Shinichiro ISHIHARA, Shigeto KAWAHARA Phonetic properties of nuclear prominence in Japanese	[D-5] 小西 正人 現代日本語における進展的状态変化自動詞の事象投射構造
16:15-16:45	[C-6] 小林 由紀, 広瀬 友紀, 伊藤 たかね 日本語複合語アクセント規則の違反に関わる ERP 研究	[D-6] 鈴木 彩香 習慣文のAspect形式と意味解釈 —単純ル形とテイル形の対立を中心に—
16:55-17:25	[C-7] 平田 秀 三重県尾鷲方言のアクセント体系における「第三の式」の発生について	[D-7] Hitomi HIRAYAMA Japanese Modified Numerals and Ignorance Inference
17:30-18:00	[C-8] 松森 晶子 八重山諸島黒島アクセントの仕組み —その韻律範疇と下がり目の出現条件—	[D-8] 川崎 典子 手話言語の動詞一致のメカニズム

	<b>E会場（多目的ホール）</b> 司会：[1-2] 藤井 友比呂 [3-4] 北原 久嗣 [5-6] 小野 創 [7-8] 宮本 陽一	<b>F会場（3-0114 教室）</b> 司会：[1-2] ティモシー バンス [3-4] 河内 一博 [5-6] プラシヤント パルデシ [7-8] 佐久間 淳一
13:00-13:30	[E-1] Samuel D. EPSTEIN, Hisatsugu KITAHARA, T. Daniel SEELY Phase-Cancellation by Pair-Merge	[F-1] 三村 竜之 アイスランド語における無声歯茎ふるえ音の解釈について
13:35-14:05	[E-2] Yuta SAKAMOTO Extraction out of English VP-ellipsis Sites: The Overt/Null Contrast	[F-2] 橋本 大樹 英語の強勢付与における不透明性: 調和的直列理論と含有理論
14:15-14:45	[E-3] 後藤 亘 併合が探査を必要とするとき	[F-3] 牧野 友香 スワヒリ語動詞の反復形 一機能と派生の条件一
14:50-15:20	[E-4] 小田 博宗 日本語の時の副詞節の構造に関する考察	[F-4] Paul Julian SANTIAGO Event cancellation and telicity in Tagalog
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	[E-5] 松田 麻子 話し手・聞き手構造による force の決定	[F-5] 吉岡 乾 ブルジャスキー語の空間参照枠
16:15-16:45	[E-6] 宮内 拓也 ロシア語名詞句の統語構造: 束縛現象からの検証	[F-6] 中村 渉 ヒンディ語の重層的格標示システム
16:55-17:25	[E-7] 渡辺 敏久 特殊な性質を示す否定極性項目「何も」～「私は何もテキーラが飲みたいのではない」の「何も」について～CP 地図化の観点からの分析	[F-7] 大西 秀幸 ラワン語ダル方言における他動詞目的語の標示について 一対格後置詞=səŋ が現れる要因一
17:30-18:00	[E-8] 山腰 京子, 近江 郁子, 池田 佳菜子, 大庭 明莉 幼児による「しか…ない」の習得について	[F-8] 藤原 敬介 カドゥー語諸方言におけるモークワン・カドゥー語の位置について

	<b>G会場（3-0106/7 教室）</b> 司会：[1-2] 渡辺 己 [3-4] 林 範彦 [5-6] 沈 力 [7-8] 千田 俊太郎
13:00-13:30	[G-1] Mitsuya SASAKI Origins of alternation and variation: rethinking the “Urban Nahuatl” hypothesis
13:35-14:05	[G-2] 簡 月真 宜蘭クレオール動詞の形態素
14:15-14:45	[G-3] 白井 聡子 中国西南部チベット=ビルマ系言語における漢語文末助詞 ba の借用 一ダバ語とカム・チベット語を中心に一
14:50-15:20	[G-4] 宮川 創 コプト語サイド方言における二重冠詞
15:20-15:40	(休憩)
15:40-16:10	[G-5] 濱田 武志 祖語の声調の調値復元アルゴリズム 一桂南平話を例として
16:15-16:45	[G-6] 大西 貞剛 オスク語における母音挿入とシンコピーの相対年代
16:55-17:25	[G-7] 大竹 昌巳 契丹語における性・数の一致と文法的性の存在
17:30-18:00	[G-8] 風間 伸次郎 ツングース諸語において祖形 *ks が仮定される音対応について

■シンポジウム 6月21日(日) 10:00-12:00

<p style="text-align: center;"><b>「日中言語対照研究の現状と未来 —両言語の交渉と研究の統合を視野に入れて—</b></p> <p>日本語学、中国語学の立場から、発表者のそれぞれのアプローチによる日中対照研究の現状を報告し、あわせて今後の研究の可能性を模索する。また、対照研究が他の研究諸領域にどのような貢献をなし得るのかについても議論する。</p> <p style="text-align: right;">司会：竹島 毅 (大東文化大学)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">構文論からのアプローチ</td> <td style="width: 50%;">田中 寛 (大東文化大学)</td> </tr> <tr> <td>連語論からのアプローチ</td> <td>高橋 弥守彦 (大東文化大学)</td> </tr> <tr> <td>言語意識のずれからのアプローチ</td> <td>庵 功雄 (一橋大学)</td> </tr> <tr> <td>言語類型論からのアプローチ</td> <td>張 麟声 (大阪府立大学)</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">コメンテーター：大島 吉郎 (大東文化大学) 須田 義治 (大東文化大学)</p>	構文論からのアプローチ	田中 寛 (大東文化大学)	連語論からのアプローチ	高橋 弥守彦 (大東文化大学)	言語意識のずれからのアプローチ	庵 功雄 (一橋大学)	言語類型論からのアプローチ	張 麟声 (大阪府立大学)	<p><b>中央棟 1階 多目的ホール</b></p>
構文論からのアプローチ	田中 寛 (大東文化大学)								
連語論からのアプローチ	高橋 弥守彦 (大東文化大学)								
言語意識のずれからのアプローチ	庵 功雄 (一橋大学)								
言語類型論からのアプローチ	張 麟声 (大阪府立大学)								

■ポスター発表 6月21日(日) 12:10-13:10

<p>[P-1] 橋本 将 「長距離例外的格付与」構文について</p>	<p><b>3号館 1階 3-0106/7 教室</b></p>
<p>[P-2] 永井 正勝, 和氣 愛仁, 高橋 洋成 古代エジプト語神官文字資料のコーパス作成とその利用： “外字”で書かれた文字言語のドキュメンテーション化の試み</p>	
<p>[P-3] 落合 いずみ セデック語パラソ方言の二重母音について</p>	

■会長就任講演 6月21日(日) 14:00-15:00

<p style="text-align: center;"><b>「日本語の方言研究と一般言語学」</b></p> <p style="text-align: right;">窪 蘭 晴夫 (国立国語研究所)</p> <p>日本語の方言研究は一般言語学にどのように貢献できるのか、また一般言語学は日本語の分析にどのような知見をもたらすのか。この2つの問題を日本語方言の音声・音韻分析、とりわけ鹿児島方言と甕島方言のアクセント、イントネーション分析をもとに論じる。</p>	<p><b>中央棟 1階 多目的ホール</b></p>
--	---------------------------------

■記念フォーラム 6月21日(日) 15:15-17:00

<p style="text-align: center;"><b>「日本言語学会の回顧と展望」</b></p> <p>本学会の元会長4名がパネリストとして登壇し、会長時代の様々な取組を紹介しつつ、学会の歩んできた道を振り返る。さらに、前会長の司会のもと、これから本学会をよりよくしていくための方策について、ざっくばらんに語り合う。</p> <p>司会：梶 茂樹 (前会長) 講師：柴谷 方良, 早田 輝洋, 上野 善道, 影山 太郎 (いずれも元会長)</p>	<p><b>中央棟 1階 多目的ホール</b></p>
---	---------------------------------

## 研究発表会場（大東文化大学板橋キャンパス）へのアクセス

### ■東京駅から（約50分）

東京駅 → J R 山手線 → 池袋駅 → 東武東上線 → 東武練馬駅 → スクールバス（無料）  
 東京駅 → 東京メトロ丸ノ内線 → 池袋駅 → 東武東上線 → 東武練馬駅 → スクールバス（無料）

※東武東上線は普通電車のみ東武練馬駅に停車（快速・急行・準急は停車しません）

### ■川越駅から（約40分）

川越駅 → 東武東上線 → 東武練馬駅 → スクールバス（無料）

※川越駅から快速・急行・準急電車に乗った場合は成増駅で普通電車に乗り換え

### ■水道橋駅から（約35分）

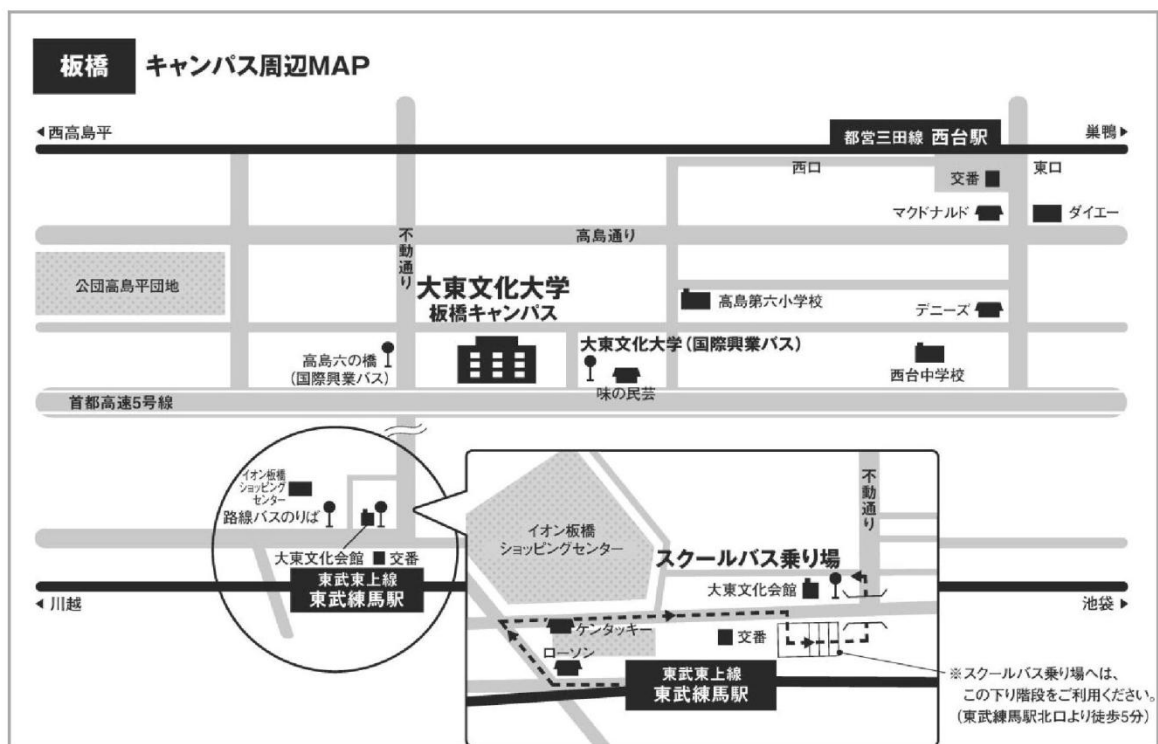
水道橋駅 → 都営三田線 → 西台駅 → 徒歩（約10分）  
 〈西口下車〉

### ■赤羽駅から（約20分）

赤羽駅 → 路線バス（国際興業バス） → 「大東文化大学」バス停  
 〈成増駅北口行〉

### ■成増駅から（約20分）

成増駅 → 路線バス（国際興業バス） → 「大東文化大学」バス停  
 〈赤羽駅西口行〉または  
 〈志村三丁目駅行〉



# スクールバス臨時便時刻表

※6月20日土曜日の18時までは適宜発着しております

6月20日(土)

大学発→大東文化会館着

18時	00 10 20 30
19時	
20時	30 40 50
21時	00

6月21日(日)

大東文化会館発→大学着

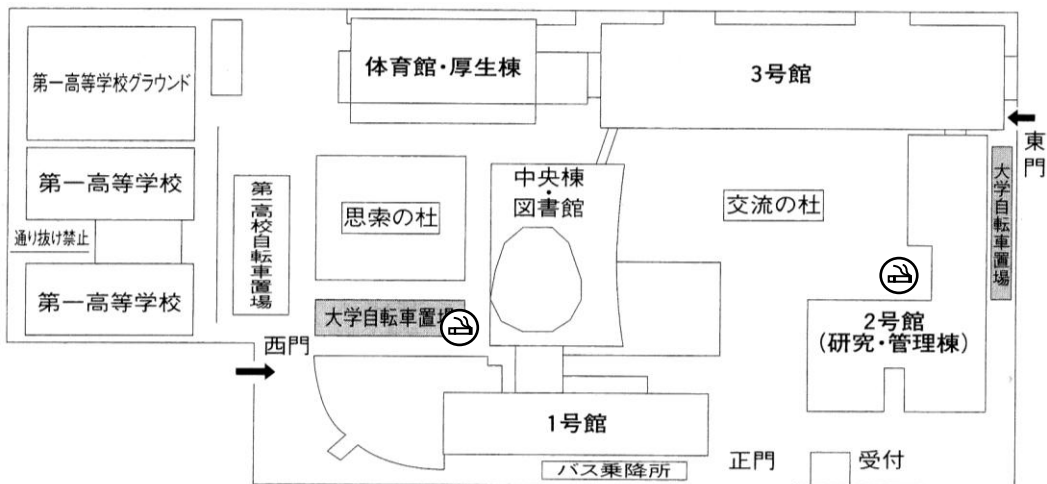
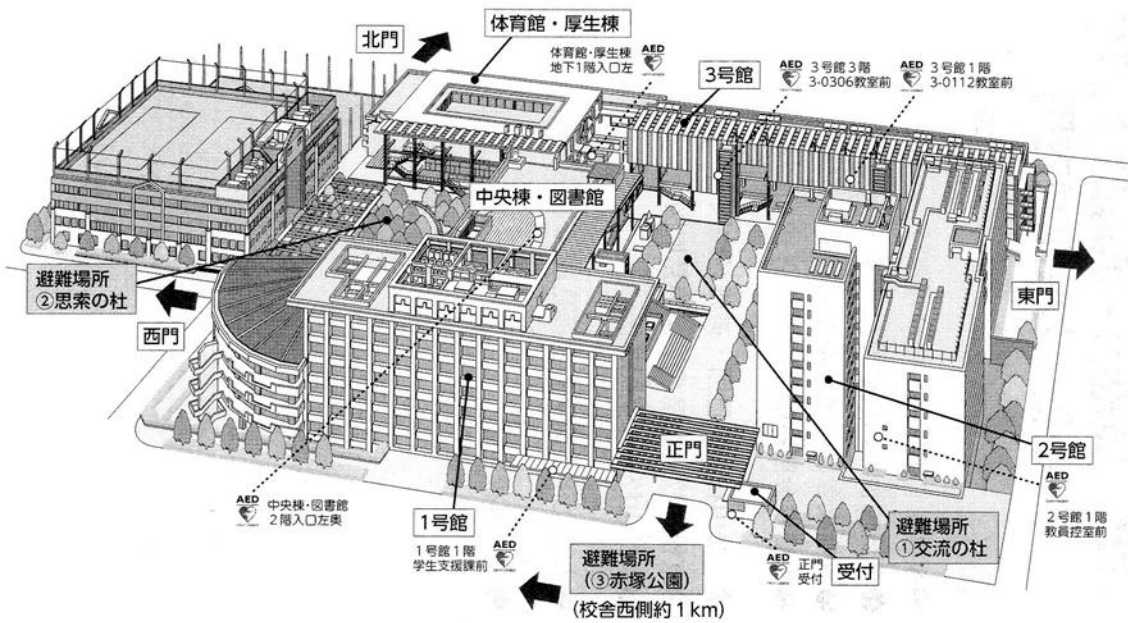
8時	30
9時	00 15 30 45
10時	00 30
11時	00 30
12時	00 30 40 50
13時	00 15 30

6月21日(日)

大学発→大東文化会館着

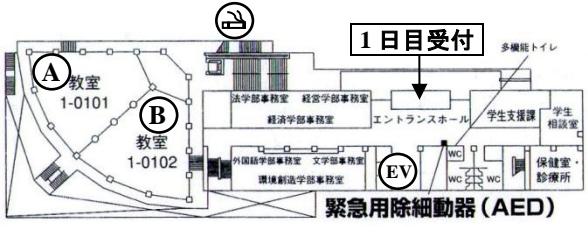
14時	00
15時	00
16時	00
17時	00 10 20 30 40 50
18時	00

## 大東文化大学板橋キャンパス 建物配置図



# 会場配置図

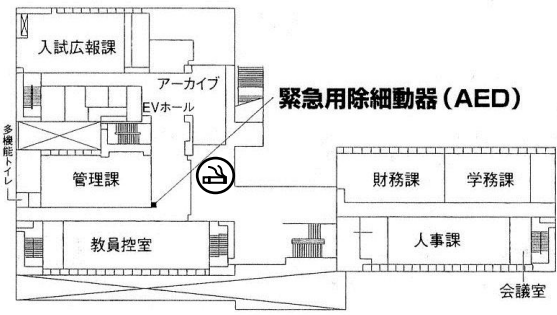
## 1号館 (1日目受付、A・B・C・D会場)



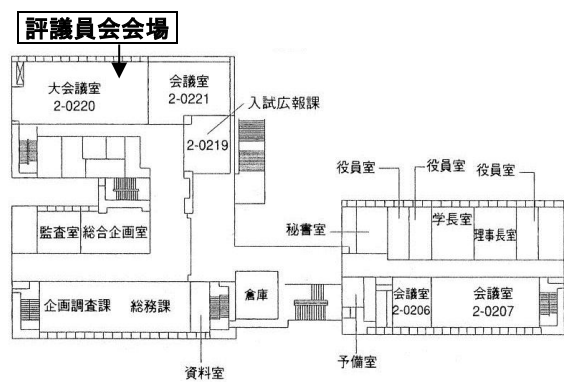
1階



## 2号館 (評議員会会場)

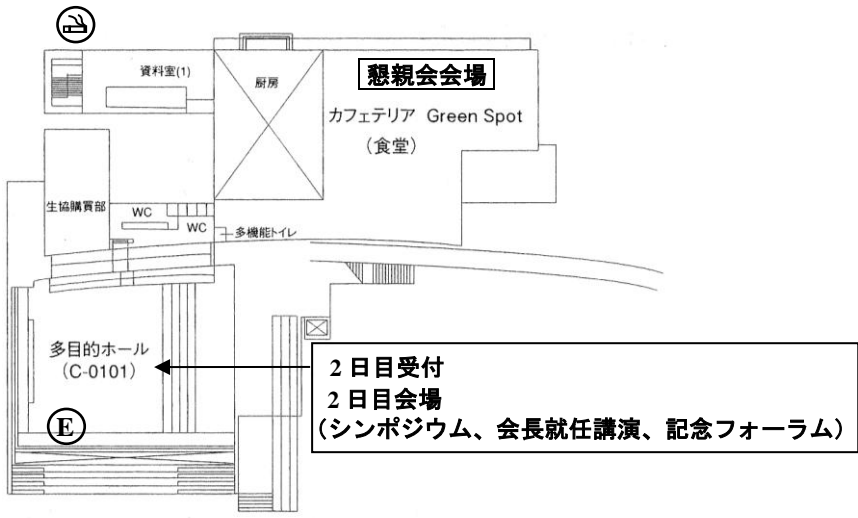


1階



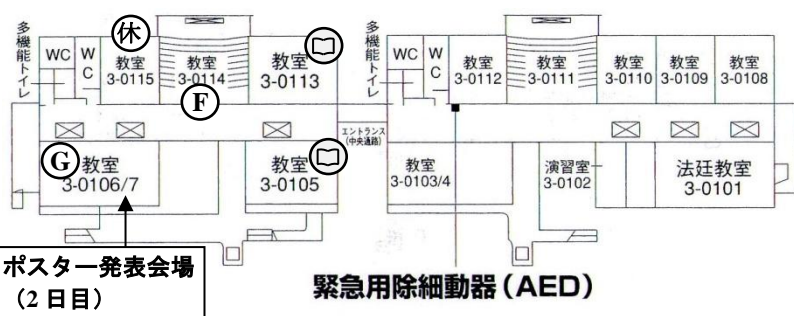
2階

## 中央棟 (E会場、懇親会会場、2日目受付・会場)



1階

## 3号館 (F・G会場、ポスター発表会場、書籍展示、休憩室)



1階

## お知らせ

### ◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上、**6月5日（金）（必着）**までに学会事務支局までお申し込みください。

### ◆大会期間の昼食について

大学内の食堂は、日曜日は開いていません。周辺の飲食店、およびコンビニエンスストアをご利用ください。ランチマップを受付横に用意しますので、そちらをご参照ください。

### ◆懇親会の申し込み

懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込みください。会費は、一般 5,000 円、学生 3,000 円を予定しています。参加者には、150 回大会を記念したお土産があります。

### ◆大会予稿集の頒布について

予稿集は、大会当日に受付にて大会参加費（2,000 円）と引き換えにお渡しします。大会前の予約・購入は受け付けていません。大会後に残部が生じた場合には、学会事務支局を通じて購入が可能です。

### ◆保育室の設置

保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**6月10日（水）**までに保育室担当宛にメールでお申し込みください。

- ・利用可能時間：6月20日（土）12:45-18:15、6月21日（日）9:45-17:15
- ・料金：お子様1人あたり1時間につき500円

### ◆車椅子の利用について

ご利用希望の方は、**6月12日（金）**までにお申し込みください。（申込先：lsj\_150th\_meeting@yahoo.co.jp）

### ◆手話通訳などについて

手話通訳、ノート・テイクなどをご利用希望の方は、お早めに学会事務支局までご相談ください。

### ◆書籍展示

書籍展示は、3号館1階、3-0105教室・3-0113教室にて行います。

### ◆『言語研究』、大会予稿集のバックナンバーについて

大会会場において、発刊後3年を過ぎた『言語研究』のバックナンバー残部の無料配布を行います。事前の受付や事後の郵送などの対応はいたしませんので、ご了解ください。なお、予稿集のバックナンバーについては、会場では対応いたしません。『言語研究』および大会予稿集のバックナンバーの詳しい取り扱いについては、学会ホームページをご覧ください。

### ◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用ください。（配布物は当日受付にご持参ください。）

**大会1日目は構内で授業が行われておりますので、妨げにならないようご注意ください。**

### 次回大会予告（2015年秋季大会：第151回大会）

場 所：名古屋大学（〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町）

日 程：2015年11月28日（土）・29日（日）

公開シンポジウム、口頭発表、ワークショップ、ポスター発表

研究発表募集：**応募要領は学会ホームページをご覧ください。**

- ・ 応募締め切り **2015年8月20日（木）（必着）**
- ・ 採否通知 **2015年9月中旬**

### 問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacoss.com